



校友さんしや

2021
Summer
2021年
8月1日発行

Vol.
55

産社校友会

第一弾

年度代表者の みなさんのご紹介

産社教員による近著紹介

産社校友のお店ご紹介
京都・イルピアット紙屋川



2021年度産社新任教員のご紹介



准教授

村田 観弥 先生

(むらた かんや)

博士(教育学)



准教授

孫片田 晶 先生

(そんかただ あき)

博士(文学)



准教授

春木 憂 先生

(はるき ゆう)

博士(教育学)

人間福祉専攻に着任しました村田 観弥と申します。担当する科目は、主に教職課程関連の「特別支援教育概論」や「介護等体験」、「学校教育総合演習」などになります。私は、大学に勤務する以前、主に中学校と特別支援学校の教員として特に障害があるとされる子どもたちと関わり、そのなかで、「教育とは何か」「教師とは何者なのか」との問いを考えてきました。「障害」を考えることは、学校教育のみならず、教育そのもののあり方を考える上でも重要であり、我々の生や関係・社会・文化といった広範な問題に関わります。「教育」は複雑かつ流動的事象であり、特定領域の専門性や既存の知識だけでは対処できません。「障害」「教育」という複雑な事象は、社会学の知見のみならず、哲学や心理学などの学際的方法で研究することが重要であり、そのための環境として、産社は大変魅力的なところであると感じています。個と社会/文化の「関係(性)」を基軸とし、個別の支援のみならず、共同体の形成や場の構築過程の研究をしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

研究テーマ

障害と関係性の研究①インクルージョンと「場」の研究②障害理解と身体性から考える疑似体験の研究③質的データの一人称分析の研究

現代社会専攻に着任しました 孫片田 晶と申します。はじめて初年次教育を担当し、1回生のフレッシュさに圧倒されましたが、最近は学生一人ひとりの顔が見えるようになってきて、授業が楽しみになり、学生の力の発展に関わる仕事の重みもあらためて感じます。学而館東側の芝生・パラソルでは上回生達がくつろいで話し込んでいて、横を通るこちらもなんだか嬉しいです。現在は先生方、職員の方々と直接交流できる機会は少ない状況ですが、先生方や職員の方々 が最善の教育を実現するため日々話し合い動いていらっしゃる姿を目にして、産社に来られて本当に良かったと実感しています。どうかよろしくお願いいたします。

研究テーマ

エスニシティ・人種研究、多文化共生論、多文化教育

はじめまして。春木憂と申します。4月より子ども社会専攻に着任いたしました。「ことば」(言葉そのものに限らない、表現・受けとめ・コミュニケーション全般)を通して、学生の皆さんと向き合い、かかわり合いながら、ともに学んでいきます。現在担当している「初等国語(書写を含む)」や「初等国語科教育法」、小集団科目等の授業とともにあらゆる場面で、学ぶことや追究すること、そして、「ことば」を通したINPUTやOUTPUT、コミュニケーションすることの奥深さやおもしろさを共有できるようにしたいと思えます。よろしく願いいたします。

研究テーマ

「子どもの論理」、論理的思考力、文学的文章教材及び説明的文章教材を用いた小学校学習指導課程の開発、「ことば」の力を育む保育・教育実践及び幼小接続期カリキュラムの開発。





- 1 2014 2 徳山 裕之
- 3 プロバスケットボールチーム大阪エヴェッサで営業として働いております。
- 4 修学館のゼミ室。ゼミの仲間と朝から晩まで籠ってました。文系でありながら、脳解析などであーでもないこーでもないみんなで頭を悩ませたことは今では良い思い出です。
- 5 草深直臣先生。基礎演習の先生であり、これぞイメージしてた大学教授！という強いインパクトを感じました。お世話になった先生方は他にもいらっしゃいますが、記憶に残ると言えば草深先生です。
- 6 行動力のある人材が集まっていることです。学生時代に語っていた夢を実現している友人が多く、自分自身も夢を諦めずに追いかけることができました。



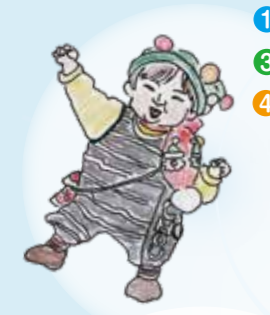
- 1 2021 2 はるか 3 教員
- 4 学術館307号室。夜9時頃までの教職課程の授業がよくあった教室です。夜遅く大変でしたが、メンバーもある程度決まっております。授業中にお腹が減ったときには芋けんぴをよく食べていました。当時は隠れて食べていたつもりですが、きっと先生はわかってはいたはず…ごめんなさい！
- 5 黒田学先生。専門科目の授業では少し怖いイメージもあった黒田先生。しかし、ゼミではまるでお父さんのような存在でした。先生がベトナムに関して研究されており、ゼミでベトナム研修にも行きました。ベトナムの障害児教育についても、本場で飲んだベトナムコーヒーの味も忘れられない思い出です。
- 6 初対面の方に「立命館出身」と自己紹介すると、「京都のおすすめスポットは？」や「京都の美味しいもの知ってる？」と会話が広がります！また、立命館の同級生は全国各地で働いています。コロナが落ち着いたら、友達に会いに行くついでに全国を巡ることが楽しみです。



- 1 2019 2 真美
- 3 銀行
- 4 以学館。ほとんどの授業を受けて、空き時間にも友達と話したりして過ごした場所なので、思い出深いです。
- 5 計量社会学の樋口先生。世の中の動きや人の考えなどを、統計的に見るとは新鮮で、学びが多かったです。ゼミでもお世話になりました。
- 6 就職先に立命卒の先輩方が年代幅広くいらっしゃり、心強く感じました。



- 1 2019 2 ダン
- 3 九州旅客鉄道株式会社(JR九州)
- 4 志学館。一回生の基礎演習や英語の講義などを受けた、とても思い出深い場所です。
- 5 基礎演習の松島先生は優しく、ときに厳しく指導してくださいました。みんな、「まつし」と呼んでいました(笑)。
- 6 各方面で活躍する仲間が多いくること。



- 1 2017 2 早川 友浩
- 3 教員。毎日が刺激的です！
- 4 以学館食堂です。食堂のおばちゃん達と仲良かったですし、お茶飲だけでもお邪魔していたくらいです。講義を抜け出しては、みんなで何か食べていたなあと思います。毎日誰かとか何を食べるって今考えれば、幸せでした。朝ごはんは本当に強い味方でした。ご馳走様でした!!
- 5 乾先生の基礎演習です。本当に厳しかったなあと思いますが、あれで4年間の土台ができましたし、今でも続く友人と素敵な思い出が話まっています。
- 6 夜通し友達の家で調査結果をまとめたり、発表会?みたいなやつで練習していた時間は宝物です。リム先生のゼミも指摘が厳しかったので、延長線でしたが…。出身大学を言うとほとんどの人が知っていることがまずは有難いです!!あとは、お偉い方の娘さんが産社の後輩だったこともあり、話が広がって覚えてもらうきっかけになりました。あとは+Rの人に掲載してもらっていたおかげで、プチ有名人になったことも(学校勤務なので、生徒達が探し出してくるんです(笑))。あとは、身近に立命出身という人が何回かあったので、一気に親近感湧きました。心強い!!



- 1 2012 2 兵庫在住 2児のパパ
- 3 大学職員(入試担当)
- 4 以学館のラウンジでよく友達と過ごしました。授業終わりはもちろん、当時所属していたインターの活動では夜まで企画の準備をしました。当時の思い出を今でも当時の友人と話します。
- 5 ゼミの先生だった海老島均先生。高校まで部活しか知らなかったスポーツの世界を、生涯スポーツの概念や、芝生の上で走り回る喜びを教えてくださいました。
- 6 まずは卒業生が多い。職場や取引先に立命卒がいるので、キャンパスや周辺の飲食店などの思い出で親近感が湧くことは多いです。卒業校を話す場面でも、立命館のことを知らないということはまずないので、話が早い。

み 年 産 な 度 社 さん 代 校 の 者 友 ご の 会 紹 介 第一弾



- 1 2016 2 もえ
- 3 地方公務員
- 4 以学館の非常階段。そこから見た夕日がとても綺麗で、心が晴れたのを思い出します。
- 5 住家先生、ためさん、今井義典先生、飯田先生、筒井先生、浪田先生、小泉先生、柳澤先生、景井先生などなど。産社の先生方はクセがすごくて、皆さん印象深く残っています。産社の講義は、他の学生との議論や映像制作等の時間も含め、どれも楽しかった記憶として残っています。
- 6 職場に立命館のコミュニティがあった。「立命会」や「立同戦」という名の親睦会があり、他部署の方々と交友を深めるきっかけになりました(定年の歳までグレーター立命や校歌を歌い続けている先輩方がいることに驚きました)。



- 1 2011 2 大下 真由美
- 3 小学校教員(LD等通級指導教室)
- 4 以学館のラウンジでおやつや飲み物を片手にみんなであれこれ模擬授業づくりの話し合いや教材づくり、卒論に向けて準備をしたのが良い思い出です。
- 5 中山先生! I was born.の文の意味から、子どもを取り巻くさまざまな社会や家庭環境について教えていただいたのが印象的でした。「君は教師になれる。でも、このままだと30歳で死ぬよ。」と言われたことをすごく覚えていて、それから、何事も真面目に悩んでひたすら抱え込まないよう心を決めました(笑)。
- 6 社会的な視点で子どもの世界を見る力がついたと思います。それは教育学部では出来なかったことだと思うので、自信があります。たとえば、今だったら、コロナ禍における子どもの立場、心と体の状態、家族や友達との関係などから、自分には今何が出来るか、を日々考えています。



- 1 2010 2 シュウジ
- 3 制作会社勤務
- 4 以学館食堂です。仲間と過ごしたりレポート提出に走ったりとたくさん思い出があります。
- 5 広告論の小泉秀昭先生。ゼミの恩師でもある小泉先生の講義は1限目で毎回眠い目をこすりながら教室に向かっていましたが、目の覚めるととても魅力的な講義内容でした。
- 6 会社の近くの飲み屋で居合わせた父親と同じくらいの歳のお客さんが、産社の先輩ということが分かり大盛り上がりしました。ボトル一本おごってもらいました(笑)。



- 1 2011 2 高橋 真喜
- 3 自営業(花屋)
- 4 漆原ゼミ研究室、以学館パソコンルーム。みんなとたくさん過ごした場所で、学びもコミュニケーションもたくさんありました。
- 5 生理学の漆原先生。自分の興味が強い部分だったこともあり、産社カリキュラム改訂後初めての学年だったこともあり、少人数での厳しくもモチベーションの高い授業でした。
- 6 同じゼミだった後輩が自分の会社で働いてくれることになり、縦の繋がりがとても嬉しかった。



- 1 2015 2 亀谷 渉子
- 3 フリーアナウンサー
- 4 ゆんげ裏。ダブルダッチサークルに入っていて、朝や空きコマ、講義後など、朝から晩まで練習に明け暮れた青春の場所です。
- 5 子どもとメディアの浪田陽子先生。メディアに興味があり、受講した講義の一つでした。講義で、子どもの頃に見ていた、「アンパンマン」などのアニメの一部を見て、それが見ている子どもにどう影響を与えるか、またどういう意図で作られた物語かなど、何気なく見ているアニメがこんなにも子ども教育のために考えられていたのか、考えさせられた講義で、とても印象に残っています。
- 6 NHKに勤めていたころ、同じ産業社会学部の卒業生の方とお会いし、活躍している姿を見て、心強かったですし、嬉しかったです。そして何よりも誇らしく思いました。



- 1 2020 2 平井 和輔
- 4 やはり以学館です。講義は勿論、学生委員会の部屋で談笑し、社会調査士ルームでPCと向き合い、ピア学習室をフル活用していた日々でした。屋上から見た送り火はとても綺麗でした。
- 5 景観デザイン論の永橋喬介先生。良くも悪くも単位が取れる勉強の仕方をはじめた中で受けたこの講義、内容の密度も難しさも面白さも尋常ではなく、90分間アドレナリン全開でした(笑)。ゼミ選択にも影響したため、自分の大学生活を変えた講義です。
- 6 大学生活の中でお世話になった方の殆どと、(不定期ですが)連絡を取り合っています。その度に「立命で、産社に入らなければこんな関係築けなかったらうな」と感じています。相談にもって下さったりと有難い限りです。

『個人的な「あるある」』
●人よりも汗をかきやすく、自転車で通学しただけで床にばたばた垂れるくらい汗だくになるため、タオルを首に巻いて講義を受けることが何度もあった。当時は恥ずかしさもなく、平気でそのまま講義を受けていたが、今考えると恥ずかしい。
●卒業論文を学部発表に出すために、半年間の制作期間を経て完成させた。期日3日前までに終わったので欲張って他の論文も書き上げたのだが…提出当日オープン(オープンパソコンルームのPC)が混みすぎて印刷ができない。オープンして大事な時に結構な確率で空いてないの、図書館まで走って印刷して…結局、必要な書類を1枚印刷し忘れて、学部長表彰には出せなかった…。残り3時間というところで準備し始めたのに…あれは流石に落ち込んだが、今は笑い話。時間管理の大切さを生徒に伝える時のネタとして大活躍中。私の中での以学館あるあるは「オープン大事な時に空いてへん」っていうこと(笑)。

このたび、年度代表者のみなさんに、産社校友会から一斉インタビューをさせていただきました。今回はそのうち12名の方からのコメントをご紹介します。よろしくお願いいたします。

- 一斉インタビューの質問項目
- 1 卒業年
 - 2 名前又は ハンドルネーム
 - 3 現在のご職業や近況報告
 - 4 衣笠キャンパスでの思い出の場所は?
 - 5 一番記憶に残る講義、先生は?その理由も。
 - 6 卒業後、立命卒(産社卒)を意識した出来事、得したこと、びっくりしたこと、うれしかったことは?

『以学館あるある』も聞いてみました!
●以学館には、食堂、購買(閉店)、理髪店(閉店)、パソコンルーム、証明写真機、証明書発行機など、なんでも揃っているため、以学館だけで1日が完結してしまうなんて日も。
●迷子になることがある。春は、お昼の食堂や階段がめちゃくちゃ混む。
●休み時間、授業がない時はだいたいパソコンルームにいた。

さらに『以学館の珍事件』も聞いてみました!
●レポート提出日の通称「以学ダッシュ」。提出日間際になると、みんながソワソワして、あの輪に囲まれないから早く提出する人、あえて囲まれる人など毎学期個性が出る瞬間だった。
●一時期「学ラン+グタの人と、髪が七色の人に両方会えればその日は運がいい!」みたいな都市伝説があった。自分はそんな日に限り、ピンポイントで先生に当てられた。

次弾掲載もご期待ください!

『アメリカ批判理論』
晃洋書房 / 3,300円

現代社会専攻教授 / 日暮 雅夫 先生
(マーティン・ジェイ氏との共編)

マーティン・ジェイと日暮雅夫によりアメリカ批判理論の注目論文を日本独自に編集。アメリカ批判理論による新自由主義への批判は、経済的再分配問題に始まり「権威主義」という政治・社会文化問題へと展開される。トランプ主義の危機に迫るフランクフルト学派、マルクス派、フェミニズムを総合するアメリカ批判理論の総決算。

※各著書の内容に関する表記については、Amazon.co.jpのWebページ掲載の情報を転載しました。

『男が介護する
—家族のケアの実態と支援の取り組み—』
中公新書 / 902円

人間福祉専攻特任教授 / 津止 正敏 先生

家族を介護する夫や息子などはすでに100万人を突破。ケアの実態を明らかにし、介護者が集う各地のコミュニティの活動を紹介します。

津止先生より産社校友会の皆様へ3冊プレゼントいただきました。ご希望の方はFacebookでプレゼント企画をおこないますので、ぜひフォローしてチェックしてくださいね!

『どうしても頑張れない人たち
—ケーキの切れない非行少年たち2—』
新潮新書 / 792円

人間福祉専攻教授 / 宮口 幸治 先生

「頑張る人を応援します」。世間ではそんなメッセージがよく流れるが、実は「どうしても頑張れない人たち」が一定数存在していることは、あまり知られていない。彼らはサボっているわけではない。頑張れないがゆえに、切実に支援を必要としているのだ。大ベストセラー「ケーキの切れない非行少年たち」に続き、困っている人々を適切な支援につなげるための知識とメソッドを、児童精神科医が説く。

『社会を知るためには』
ちくまプリマー新書 / 924円

メディア社会専攻教授 / 筒井 淳也 先生

「社会」という言葉は、様々な形で使われていて、普段は存在を意識しないが、その実態はとてつもない。では、どのようにすれば「社会」を理解できるのか? 複雑化、副作用、絡み合う因果関係など、その特徴をつかむ。

産社教員による近著紹介

産社校友のお店ご紹介



イルピアット紙屋川

☎ 075-285-4189

モバイル 070-5500-2994

Eメール info@ilpiatto.net

https://www.ilpiatto.net

〒603-8332 京都市北区大將軍川端町

22-1 ハウス花の木 東号室

京福電鉄 北野白梅町駅より徒歩5分

営業時間 (日曜日・月曜日定休)

ランチ / 11:15 - 13:00

ディナー / 17:00 - 22:00

※営業時間、定休などは、お店のホームページでもご確認ください。

京都市北区は大將軍にあるイタリアンバル・イルピアット紙屋川。開放感ある店構えと、コスパ最高のメニュー、そしてユニークで気さくなマスターがとても人気のお店です。そのマスターは、2004年産社卒業の水谷啓郎さん。水谷さんには、これまで産社校友会の企画にもたびたびご協力いただいております。産社校友にとっても大変馴染みのお店です。水谷さんには、産社校友会ホームページの「さんしゃ」コーナー「さんしゃびと」にも登場いただいております。(2013年9月24日発行No.23)



「さんしゃびと」の記事をお楽しみいただきつつ、お料理やお酒を気兼ねなく楽しめる時期が参りましたら、ぜひ、水谷さんの確かな腕と楽しい雰囲気味わいにお出かけください。

京都・イルピアット紙屋川



遠藤保子先生が永眠されました

産業社会学部名誉教授で、2021年3月まで特別任用教授であられた遠藤保子先生が、2021年5月6日永眠されました。享年68歳。

遠藤先生のご専門はスポーツ科学、舞踊学で、東京教育大学体育学部卒業後、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻博士課程を単位取得満期退学され、1994年4月に助教授として産社に着任、1997年4月に教授に就任されました。立命館大学では、産社学生主事、全学の保健体育教室主任、キャリアセンター副部長、学生部副部長などを歴任されたほか、日本スポーツ人類学会会長、アジアスポーツ人類学会副会長などの学会の要職を務められました。

研究面ではアフリカの舞踊を探求された遠藤先生、時にはアフリカの舞踊家を立命館に招き以学館ピロティでのデモンストレーションを企画されることもありました。主催者として脇で進行を見守りつつ、ダンスブルナリズムにあわせて踊り出す遠藤先生のお茶目なお姿を思い出すと胸が熱くなります。心から哀悼の意を表します。

随時更新中! 今後の情報もweb、SNSでcheck!

産業社会学部校友会公式ホームページ

産社校友会

検索



<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/ss/reunion/>

産業社会学部校友会公式 facebook

@sanshaalumni で検索

<https://www.facebook.com/sanshaalumni/>



産業社会学部
校友会公式
Instagram



産業社会学部
校友会公式 LINE

ID : @wli8886c



「校友さんしゃ」(立命館大学産業社会学部校友会会報)

2021年8月1日発行 第55号

<発行人>古谷 寛

<編集人>立命館大学産業社会学部校友会広報担当

(野村慶人、田中嘉欧利、加島美和および事務局)

<3ページイラスト>田中嘉欧利

<発行所>立命館大学産業社会学部校友会

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL:075-465-8185(直)

FAX:075-465-8196

E-mail:reunion@st.ritsumei.ac.jp

WEB:http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/ss/reunion

緊急事態宣言発令を受けて4月19日以降リモート講義が続いていたキャンパスですが、6月21日に対面授業が再開され、キャンパスに学生の姿が戻ってきました。お昼休みなどには、クラブやサークルが新勧活動をしている様子も見受けられます。通学のためバスや電車は混雑しますが、やはり学生の声が響くキャンパス風景には心が落ち着きます。7月からは大学構内でのワクチン接種も始まりました。大学の活動のすべてがコロナ以前に戻ることはなく、むしろコロナにより新たな展開が切り開かれた面のあると思いますが、何かしらに憂いを感じる場面が少なくなることを願います。(N)

編集室より